

日本建築士会連合会(宮本忠長会長)とNPO法人日本伝統建築技術保存会(本部・滋賀県、西澤正男会長)は11日、専攻建築士制度「棟梁専攻」領域での制度整合を目指し基本合意を交わした。文化財保存建築にかかる木工技能者の団体である伝統技術保存会の正会員、または同会が認定した「日本伝統建築技能者」のうち、建築士資格を持つ者を「棟梁専攻建築士」の中で高度な技能を持つ上位者と位置付け、申請により棟梁専攻建築士の称号を認める。制度整合の基本合意は、日本建築家協会(JIA)、日本建築構造技術者協会(JSCA)に続いて3番目となる。

棟梁専攻建築士で 基本合意



合意書に調印する宮本会長(右)と西澤会長

今回の基本合意は、伝統構法に着目した木造住宅への関心の高まりなどを背景に、日本の伝統建築の担い手である大工・棟梁の社会的地位を確立しようと、両団体の協議により締結された。

合意内容は、①伝統技術保存会の正会員および

同会が認定した「日本伝統建築技能者」と連合会が創設した「棟梁専攻建築士」は、同じ目的と方

向性を目指すものと認められる②伝統技術保存会の正会員および「日本伝統建築技能者」で、建築士免許を有する者は、研修実

務、認定の諸要件の観点から、より高度な技能を修得する者として、「棟梁専攻建築士」の中の上位の位置付けとする③伝

統技術保存会の正会員およ

び「日本伝統建築技能者」で、建築士免許を有する者が、「棟梁専攻建築士」に申請する場合、

伝統技術保存会は、日

「社会に貢献できる企業を目指します」。

空調・給排水設備の機

械販売や設計施工など

を手掛ける岡南工業㈱

管理の国際規格「ISO 9001:2000」認証を取得した。認証機関は財日本科学技術連盟ISO審査登録セ

ンター。

同社は昨年4月、管

理責任者に選任。

各部署にISO推進委員を任命し、1年内

の取得目標に全員で

の勉強会を実施してき

た。8月までの4ヶ月

間を準備期間とし、品

質管理責任者に選任。

ISO推進委員

を任命し、1年内

の取得目標に全員で

の勉強会を実施してき

た。8月までの4ヶ月

間を準備期間とし、品